

汗

相馬杜宇

登場人物

日岡信二(ひおかしんじ) 四三歳。日岡スポーツ店主。元石野田東高校野球部キャプテン。

米田忠徳(よねだただのり) 四三歳。米田建設野球部監督。元殿村学園野球部エース。

中園雅人(なかぞのまさと) 四三歳。四津川よっかわ高校野球部顧問。元石野田東高校野球部。

登坂信人(とさかのぶと) 三四歳。日岡スポーツ従業員。

小谷寧々(こたにねね) 二二歳。日岡の彼女。米田建設野球部スタッフ。

大森和歌子(おおもりわかこ) 四三歳。日岡の元妻。看護師。

鮫川正義(さめかわまさよし) 一八歳。石野田東高校ピッチャー。

菊竹雄大(きくたけゆうだい) 二九歳。米田建設野球部。ピッチャー。

鈴木ダグラス(すずきだぐらす) 一八歳。米田ドリームス。ピッチャー。

ヒオカシンジ 一八歳。高校時代の日岡。

* 小谷と大森は一人が演じる。

* 鮫川と菊竹とダグラスは一人が演じる。

高校野球県大会決勝。

応援が最高潮に達している。

ヒオカがセカンドの守備についている。

現在九回裏ツーアウト二、三塁。ヒオカの高校(石野田東)が二対一でリードしている。

ヒオカ、腕で汗を拭う。拭っても拭っても汗が吹きだしてくる。

まもなく金属バットの打球音。

ヒオカのところにゴロが飛んで来る。

ヒオカ、後逸する。

相手チームの歓声。

試合終了を告げるサイレン。

ヒオカ、天を仰ぐ。

二十五年後。

八月のある日の午後。

米田建設野球部の事務所。グラウンドが隣接している。

米田が床に転がったボールを拾いながら入ってくる。そのうちの一つはさきほどヒオカが後逸したボールである。

米田は元高校球児とは思えないほど太っている。

続いて日岡が野球ボールをいっぱい抱えて入ってくる。

日岡 ああ、すいません。

米田 こちらこそ、暑い中。(ボールを手渡し)大変だったでしょ、積むだけでも。

日岡 若いのに頼んだので。

米田 若いの？

日岡 入ったんです、登坂って奴が、先月。

米田 良かったねえ。これからは練習も見に来られるじゃない。

日岡 たまには……

米田 来てよ。ちゃんと活用してるところ見てもらいたいし。

日岡 ありがとうございます。(と言って汗を拭く)

米田 ああ、休んで休んで。

日岡 失礼します。

日岡と米田はソファに腰を下ろす。

米田 それ何とかならない？

日岡 はい？

米田 フランクにいこうよ、元チームメイトじゃない。

日岡 リトルリーグですか。

米田 強かったよねえ。

日岡 ピッチャーが良かったですから。

米田 鉄壁だったじゃない、日岡君も。

日岡 いやいや、

米田 日岡君とこ飛べば「ああもう大丈夫だな」って思ってたよ。

日岡 だいたい詰まった当たりでしたし。

米田 (笑って)謙虚だなあ。(ドアの向こうに)小谷ちゃんちよっと。

小谷 (声)はーい。

小谷、入ってくる。

米田 アイスコーヒー持ってきてくれる？ (日岡に)何にする？

日岡 じゃお水を……

小谷 麦茶ですね。かしこまりましたー。

小谷、去る。

米田 面白いよねー。

日岡 いい子ですよ。

米田 え？

日岡 和みますね、場が。

米田、テレビをつける。甲子園決勝の中継をしている。

米田 (中継を見て)また点差付いたのかよ。打たれ過ぎだろ。

日岡 あれ、確か今年の殿村もここに……？

米田 そう、ニーゼロで。

日岡 でも決勝残るところ相手にニーゼロだったら大したものじゃないですか。

米田 今年はパツとしなかったね。

日岡 厳しいですね。

米田 言ったんだよ、監督に、もつとスカウト頑張んなきゃ駄目だって。このままじゃ県大会も危ういぞって。

日岡 ええ？

米田 後輩なんで脅かしたのもあるけど。

少しの間。

甲子園の中継は続いている。

日岡 このピッチャー、ドラフトの目玉みたいですね。

米田 うちなら取らないけど。

日岡 そうなんですか。

米田 だって、どう？

日岡 (投球を見て) 落差のあるカーブだと……

米田 ま、高校生にしたらアレだけど、曲りどころが早すぎるし、慣ればバカバカ打たれるしよ、プロじゃ。

日岡 ああ……。

小谷、アイスコーヒーと麦茶を運んでくる。

小谷 甲子園見てばかりなんですよ、監督。

米田 これも仕事でしょ？

小谷 羨ましい。

米田 見ないわけいかないだろ。なあ？

日岡 私は見てないですけど。

米田 ええ？ 話題になるでしょ、お客さんと。

日岡 忙しくてですね、何かと。もちろん米田さんに比べたらあれですけど。

米田 多少無理しても見たいと思うものじゃない？ 元高校球児としては。

日岡 ……。

少しの間。

米田 え、嘘、まだ？

日岡 いやいや。

米田 だよな……(笑う)

小谷 何？

米田 (日岡に) 引きずってないんだよね？

日岡 ええ。

小谷 何ですか？

米田 いやね？ 県の決勝で当たってき、高三の時、(日岡の)石野田東と、危なかったん

だよ、九回裏の時点でイチニイで負けてて。

小谷 殿村学園？

米田 そう。まあそれでもツーアウトから何とか二、三塁まで持ち込んだんだけど、次のバッターがボテボテのセカンドゴロで……あの時はもう駄目だと思ったなあ。

小谷 え……？

日岡 ……。

米田 きれーいなトンネルだったよ。

日岡 (平静を装い) ありましたねえ……

米田 助かったよ。

日岡 でも誇らしかったですよ。

米田 誇らしい？

日岡 全国制覇したじゃないですか、あの年。

米田 ああ。

日岡 決勝は六対一でしょう？ うちは一対三だったんで、実質うちが準優勝だなあ……
なんて。

米田 ……へえ……。

日岡 (ボール)用具室持ってきましたか？

米田 悪いね、何から何まで。

日岡 スペシャルサポーターですから！

日岡、ボールを抱えて足早に去る。

―2―

十分後。

日岡 スポーツ店内。住居スペースが隣接している。

登坂がデスクトップパソコンで帳簿をつけている。

同じ机の上には電話がある。

そこに日岡がやってくる。

登坂 おかえりなさい。

日岡 ただいま。

日岡、年季の入ったバットを持ってきて素振り始める。

登坂 バッチリすか？

日岡 あ？

登坂 納品、米田建設の。

日岡 ああ。

登坂 助かりますよね、あんな沢山注文してもらえると。

日岡 ……。

登坂 後で帳簿にも書いときます。

日岡 いいよ、それは。

登坂 どうしてですか。

日岡 俺の方で管理してるから。

登坂 え、だって店の売り上げですよね。

日岡 色々付き合いもあるし。

登坂 あ、割引ってことですか？ 大丈夫ですよ、それも踏まえて計上するんで。

日岡 いいって。

登坂 いや絶対一括で管理した方が後々楽ですって。何割引ですか？

日岡 ……十割。

登坂 え？

日岡 タダだよ。

登坂 どうして？

日岡 スペシャルサポーターだし。

登坂 え……あれだけあったら十万超えますよね？

日岡 将来への投資だろ？ いつまでもスクールルジャー頼みじゃ未来ねえだろ？

登坂 どういう未来が期待出来るんですか？

日岡 あるだろ、色々。

登坂 どんな？

日岡 世話んなりっぱなしでいられるはずないんだし。

登坂 ええ？ であれば、親父さんがやってたみたいに、ちゃんと商品の魅力を一つ一つ

しつかり、

日岡 (突如声を荒げる)時代が違うだろ！

登坂 時代？

日岡 定価で買ってもらえるお気楽な時代じゃねえんだぞ。ボール一個、ラケット一本の

説明に三十分も一時間も掛けられっかよ。

登坂 だから、こそ、ウチだけはそういう店であつてもって思うんですけど。

日岡 慈善事業じゃあるまいし。お前は全然商売つてもんが分かつてねえな。そんなんだ

からリストラされんだよ。

登坂 ……。

電話が鳴る。

登坂 あ、電話ありましたよ、さっき、

日岡 あ？

登坂 納品行かれてる時。キャッチャーの防具の件で、

日岡 (舌打ち)

登坂 中園さんって方から。……また。

日岡 ……。

鳴り続ける電話。

日岡、無視して素振り続ける。

高校時代。石野田東高校グラウンド。
練習後。

ヒオカがベンチに座り、グローブを磨いている。
そこに中園がやってくる。

中園 お前さあ……

ヒオカ (気づく)……？

中園 キャプテンだろ？ 声出せよ、練習中。

ヒオカ (頷く)……。

中園 ホント分かってる？ 率先して盛り上げないでどうすんの？

ヒオカ (頷く)……。

中園 頼むぞ、全く。

中園立ち去りかける。

ヒオカ、グローブ磨きを再開。

中園 (戻ってきて)それからさ、ノックの時無駄話してる二年締めといてくんない？ 腹

立ってしようがないんだよ。

ヒオカ ……。

中園 下手なくせによお。

ヒオカ (グローブを磨く)……。

中園 グローブ磨いてる暇あったらさあ、もう少しチームの事考えろよ。

ヒオカ ……。

鮫川がやってくる。

鮫川 中園、監督が呼んでるぞ。

中園 (ヒオカに)試合出てないんだしよ。

中園、去る。

鮫川 あいつホント感じ悪いな。

ヒオカ (苦笑い)……。

鮫川 いつか痛い目見るよ、絶対。

ヒオカ ……。

ヒオカ、グローブ磨きに精を出す。